

佐藤 和夫議員

- ①城山公園の整備について
- ②市立図書館について
- ③インバウンド観光の推奨について
- ④公共情報システムの導入について
- ⑤バス高速輸送システムの導入について
- ⑥リバスオークションの導入について
- ⑦フェイスブック等の導入について
- ⑧太陽光発電の屋根貸し事業について

真岡市立図書館の

一層のサービス向上を

問

佐藤議員 市立図書館を年中無休で、午前9時から午後9

時まで開館できる企業を指定管理者に指定できないか。

答

教育次長 市立図書館の施設運営に民間の発想等を活かして、

住民サービスの向上と行政コストの削減を図ることを目的とし、平成21年4月から指定管理者制度を導入し、(株)図書館流通センターを指定管理者に指定した。これにより管理運営費の削減、祝日の開館や平日開館時間を午後8時までとするなどのサービス向上を行った。その結果、入館者数は制度導入前の平成20年度と比較し、平成24年度の実績で13.3%増加、貸出冊数は20.5%増加し、利用者の利便性が向上した。

なお、指定期間である5年間で平成25年度で満了となることから引き続き指定管理者選定についての手続きを進めている。

また、年中無休の開館等については、今後、指定管理者等選定委員会で、公募型プロポーザル方式により書類審査等を行い、指定管理者の各候補者からの提案をもとに施設の効果的な運営とあわせて総合的に判断し、市民のニーズに沿ったサービスを提供する指定管理者を選定していく。

城山公園再整備の

進捗状況は

問

佐藤議員 城山公園再整備の進捗状況を伺う。また、歩道が狭いので、児童の安全のためにも一日も早く整備を望むものであるが、歩道拡幅の進捗状況を伺う。

答

建設部長 先の東日本大震災の災害復旧工事により利用面積が減少したため、更なる城山公園の有効活用を図るとともに、公園西側の真岡小学校通学路の拡幅を図るため、再整備を進めている。整備状況については、昨年度、事業の基本設計を作成し、地元説明会を開催するとともに、真岡小学校などの関係者と協議を進め、基本計画を取りまとめた。

概要については、現在の地盤高を小学校入り口から平らに公園に入園できる計画を進めている。また、歩道拡幅については、現在、約50センチメートルの歩道を2メートルに拡幅して、児童の安全を図る計画を進めている。

現在の進捗状況については、基本設計をもとに事業を行うための実施設計を作成しており、あわせて公園への占用物件である本城稻



整備中の城山公園(台町地内)

荷神社や忠魂碑等の管理者と協議を行っている。今年度は、樹木伐採と造成切土工事を行う予定であり、更に来年度には、公園整備事業を行うとともに、歩道拡幅を実施していく予定である。